

ねらい

身近な自然への理解と愛着を基盤に、環境問題と社会や生活とのかかわりについて理解を深めるように、環境教育を進めています。また環境保全やよりよい環境創造のために、積極的に行動していく態度を育てていきます。

現状と課題

- 全幼稚園・小中学校が環境教育年間指導計画を作成し、環境教育を推進しています。
  - ・平成21年度 環境教育年間指導計画の8割以上の時間数を実施できた割合  
 【幼稚園】…89%      【小学校】…98%      【中学校】…94%
  - ・平成21年度 身近な素材から出発し、社会参加につながる取組を、学校・家庭・地域の連携のもとで進めることができた学校・園の自己評価平均値  
 環境教育評価（学校教育活動の評価）4段階評価  
     【小学校】…2.9      【中学校】…2.8
- 各学校園で実態に即した実践が行われ、自己評価もおおむね良いが、さらに体験的・問題解決的な学習を通して、教科横断的・総合的に環境教育をすすめる必要があります。

今後の方向性

- 環境教育資料の充実。
  - ・環境保全課、四日市市環境学習センターとの連携で、小学校社会科副読本『「のびゆく四日市」四日市公害』の内容の充実に努めていきます。また電子黒板での利用を想定し、環境教育資料のデータベース化をさらに進めていきます。
  - ・教職員向けの「四日市公害」に関する研修機会を設けます。

主な取組状況

- 「くらしと水・くらしとごみ」「四日市に青空をとりもどすために～環境保全への歩み～」小学校社会科副読本『「のびゆく四日市」四日市公害』のデータベース化実施。
- 学校環境デー  
 国際連合の6月5日「世界環境デー」を受けて、この日を「学校環境デー」とし、各学校（園）の主体的な取組により、環境教育の推進を図っています。



	主 な 活 動 内 容			
啓発活動	・リサイクルの呼びかけ及び回収（ペットボトルキャップ等） ・子どもたちから保護者へのエコバックプレゼント ・環境ソング「みんなでへらそう Co2」の合唱	小11校	中13校	9園
環境に関する学習	・「こどもCO2ダイエット作戦」の取組に参加 ・「EM」を活用した学習（川・プールへ投入） ・ごみを少なくする調理の学習（エコクッキング）	小27校	中7校	22園
奉仕等体験的活動	・花のボランティア活動 ・里山保全活動 ・地域との協働活動による清掃・整備活動	小36校	中17校	20園